



吉田光延 画

発行
 社会福祉法人いわき福音協会
 はまなす 荘
 いわき市平中平窪字二堂田2
 〒970-8002 ☎(0246) 8711
 編集責任
 はまなす荘新聞編集委員会

今年も立派な桜の花が咲きました

新年度を迎え、平成から令和に年号が変わりました。なんとなく身の引き締まる思いがするのと昭和生まれの私としては、昭和・平成・令和の年号の響きを味わい、人生の歴史は、たいしたことではないが、誇らしさを感じます。

さて、令和になって福祉の動向は、どうでしょうか。利用者の人権擁護を改めて認識し、施設・地域の生活を安心、安全に保障される社会を私たちが発信するのが令和への一歩かと思えます。

障害者支援施設は、三六五日、二四時間利用者に寄り添って支援出来るという強みがあります。そして、利用者者と職員が共生共感しながら、日々の生活を安心、安全に送ることが出来ることです。とは言っても、利用者の重度・高齢化が生じている現実に直面していると、支援している私たちにも不安がよぎります。利用者には、どう受けとめられているでしょう



日々是好日

所長：志賀道子

か。日頃から振り返る癖をつけて、自分主体ではなく、利用者主体に考えるべきです。想定外のこと起こり得ることを前提に「これはなぜなのだろう」とか「これで良いのだろうか」と考え、「なぜ」を知ること、よい支援に結びつき、自分自身の成長につながります。私の経験から、一回ぼっきりの「なぜ」では、見えてこないものもあるのです、常に「なぜ」「なぜ」「なぜ」と問いかけてみてください。

「ボートと生きてんじゃねーよ」とチコちゃんに叱られるテレビを見たことあるけど、言われないように私たちの微量な『心』が利用者に響くよう努力しましょう。



南限の花

新年度が始まり、四月で「平成」は終わり、五月から「令和」となりました。

「令和」は、どんな時代になっていくのでしょうか。不安もありますが、新しい時代も前を向いて生きていきたいですね。

「令和」は、万葉集が典故となっており、安倍首相の談話によると「令和」には「厳しい冬の後には梅の花のような美しい花を、日本人の一人一人が咲かせられるように」という願いが込められているそうです。

私も、自分にとっての「令和」がよき歴史の一ページとなるよう、成長していきたいです。どんな時代にも、辛いこと楽しいこと、色々あるとは思いますが、精一杯頑張っていきます。

令和元年度事業計画

はまなす荘は、平成二十二年に建て替えた建物です。八年が経過し、ところどころ修繕や改修を要する部分や利用者の想定外の行動から予想外の修繕が生じる部分もあります。障害者支援施設だから三六五日、二四時間の支援体制だから、利用者の生活に安

心、安全な環境を提供しなければいけないと思っています。

令和元年度は、LED照明改修工事(四カ年計画の四年目)と雨天時の車椅子車輛昇降に不便をかけたので、男子棟からの通路屋根工事を予定しています。利用者の生活に

さらに、ボランティアの方の協力を得て、ライフサポートも実施していきたいと思っています。できる限り多くの利用者さんに参加して頂けるように、毎回、参加される利用者さんにあった計画を立てていきたいと思っています。

令和元年度行事予定

今年度も花見や暑気払い、夏まつりにクリスマス忘年会など、季節ごとに様々な行事を予定しております。特に、毎年恒例のみはま福祉祭りは、今年度、はまぎく荘での開催となります。大いに楽しんでいきたいと思っています。

また、保護者の方との関係を密にすると共に、施設内の状況を報告する場を設ける為面会日やふれあいレクリエーション、一泊研修旅行も予定しております。

最後に、地域での行事にも積極的に参加し、障がいのある方を理解していただき、時に協力して頂けるような関係性を築いていきたいと思っています。

直接つながるものだと思うので、完成することにより、利用者にも喜んでもらえるのではないかと期待しています。

施設の住環境は、明るい・便利・きれいを目指し、利用者には快適な生活をしていただくために、利用者主体に考えます。また、利用者にとって支えとなる職員の確保は必須です。手厚い支援をするために、障害への正しい理解や意識を高める努力をします。

保護者との一泊研修

三月二日～三日に保護者との一泊研修会をいわき新舞子ハイツにて行いました。はまぎく荘との合同で、社会福祉法人育成会本部事務局長の古川敬さんを講師に招き、「人権を守り人生を支える知的障害者と意思決定支援」についての研修を行いました。質疑応答では活発な意見交換もあ

り保護者、職員共に、人権・意思決定支援とはどうあるべきか再確認出来た実りある研修になりました。

その後各施設に分かれての研修会となり三十年度の事業報告・医務報告・支援状況報告がありました。二者面談で

は、次年度の個別支援計画の作成のための目標の聞き取り等普段時間を取ってできない話を保護者の方々と深く掘り下げてできたと思います。

懇親会では、保護者の方々とこの会話が盛り上がり親睦を深めることができました。



新年度に向けて

医 務

「新年度に向けて」

先日、利用者さん・職員皆でお花見に出かけてきました。四月早々の行事を行うと、新年度が始まったんだと実感します。

今年度は、利用者さんの身体機能維持・肥満予防対策に向けたりハビリ訓練や、運動量アップにさらに力を入れ、職員の協力のもと取り組んでいきたいと思っています。

また今年度も、利用者さんと共に「元気・笑顔」で思い出を一つずつ増やしていきたいと思います。☺☺☺



男子棟

『平成』から『令和』へと節目となる年を迎え、男子棟ではどのような一年を迎えるのでしょうか。

まずは、健康で怪我をしないで生活できることが一番です。その生活が充実したものになるよう、利用者の方のニーズを見出ししっかりと受け止めて支援していきたいです。

障がいの重度化や身体機能の衰えが感じられることもあります。活動を通して新しい発見があったり、新しいことが出来るようになったりもしています。

一人ひとりの意思を尊重し、楽しい生活を送れるよう男子棟一丸となり頑張ります。

そして今年度も、保護者の皆さんやボランティアの方々、そして地域の皆様のご理解とご協力を頂きながら利用者の方と共に過ごしていきたいと思っております。

笑顔いっぱいの男子棟にしていきたいので、よろしくお願い致します。

女子棟

昨年は、三名の退所者があり二十七名となりました。花見に始まり、グループ旅行、クリスマス忘年会など、様々な施設行事に全員で参加する事ができ、たくさんの思い出を作ることができました。

地域の皆様やボランティアの方々、保護者様の理解とご協力に支えられて行事ができています。深く感謝しております。

今年度も、利用者の健康と安全を確保することを第一に考え支援し、利用者一人ひとりの気持ちや考えをくみ取り、寄り添い、毎日健康で、楽しく笑顔溢れる生活ができるようにしていきたいと思えます。

女子棟支援員一丸となって利用者の幸福のために頑張ります。

給 食

「新年度に向けて」

「人生百年時代」と言われる時代になりました。

利用者さんには、住み慣れた『はまなす荘』で、自分らしい暮らしをして、幸せだと思えるような生活を送ってほしいと思います。その為にも、利用者さんにとって「寄り添う栄養」を心がけていきたいと思えます。

利用者さんが食事を人生の楽しみの一つとして、又、健康が維持できるように看護師さん、支援員さんと連携しながら、食事の支援のサポートをしていきたいと思えます。

功 労 賞

3月15日に平成30年度の功労賞授与式を食堂にて行いました。各賞の受賞者は以下の通りです。

- ★ ひまわり班 高橋 明美 さん
- ★ さくら班 高崎 隆則 さん
- ★ さきおり班 長谷川真弓 さん
- ★ 男子棟 金成 光則 さん
- ★ 女子棟 小酒 保子 さん
- ★ 所長特別賞 八巻 隆 さん



以上の6名が受賞しました。
今年度も皆さんよく頑張りました。来年も頑張ってください。

節 分



二月三日、食堂にて「節分」の行事が行われました。今年度は、例年と違い日曜日の節分当日に行われたということもあり、のんびりとした雰囲気の中、少人数での行事開催

となりました。節分にちなんだ絵本の読み聞かせを行い、その後は甘酒と甘納豆・卵ボーロが振舞われました。節分と言えば豆まきですが、今年度は安全などを考慮し、行いませんでした。次年度は、節分の雰囲気をもっと感じてもらえるよう工夫を施し、利用者さん方に楽しんでもらえる行事になれば、と感じました。



ひな祭り



三月一日に、立派なひな壇が飾られている食堂にて、「ひな祭り」の行事が行われました。今年度は、手作りおやつ

でピンク・白・緑に色付けされた菱餅をイメージしたデザートと甘酒が振舞われました。見てよし食べやすいの品々に、利用者の皆さんはご満悦でした。また、「ひなまつりにおひなさまをかざるわけ」という絵本の読み聞かせも行いました。長いお話でしたが、絵本を食い入るように、皆さん熱心に聞いてくださいました。ひな祭りの雰囲気も存分に感じられた時間になったのでは、と思います。

なまつり



さきおり展示・即売会

平成三十年度のさきおり展示・即売会が二月八日と九日に行われました。今年で四回目となるさきお

り展示・即売会でしたが、二日間で計九八名の方にお越し頂き、大盛況のうちに終える事ができました。さきおりを



行った利用者さんやご協力頂いた保護者の方の事は、着物や浴衣等の生地やお手製の作品を寄付して頂いた方々、また、お越し頂いたお客様、全ての方にこの場を借りて感謝申し上げます。

上げます。本当にありがとうございました。さきおり展示・即売会は今

年も実施予定です。また、さきおり班では様々な催しを考えております。その際は是非、皆さまにお越し頂ければ嬉しく思います。また、作品作りに必要となる着物や浴衣の寄付と一緒に作品作りを行って頂けるボランティアの方も随時募集しております。使用しない着物や浴衣をお持ちの方や少しでもさきおりに興味のある方は、はまなす荘までご連絡頂ければと思います。



三月二十八日に自治会主催の退職者・異動者送別会を行いました。

支援員補助の菅原敬二さんと同じく鯨岡美香さんの二名の方が退職されました。

ボランティア活動懇談会

三月二十三日、平成三十年度ボランティア活動懇談会が行われました。六名のボランティアさんの参加を頂き、今年一年を振り返って沢山の貴重な意見を伺う事ができました。

ボランティアさんのお話の中で「楽しくボランティアに取り組んでいます」といった言葉を聞き、そういった気持ち

ちで利用者さんと関わってくれているボランティアさんのありがたみを改めて感じ、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

今年度(令和元年度)も活動をして下さるボランティアの皆様、利用者さんからたくさん元気をもたらすはまなす荘に来て下さい。よろしくお願ひ致します。

藤間俊江課長と横山直美支援員がシューズへ、松尾幸昌係長が野の花ホームへ、佐藤真知子支援員がはまゆうへ異動となりました。退職者・異動者の方々、今までありがとうございました。新しいところでも頑張ってください。また、いつでもはまなす荘に遊びにいらして下さい。



New Face Introduction

新入職員紹介

- ①名前 ②職種
- ③趣味・特技 ④抱負



- ① 渡邊孝代(わたなべたかよ)
- ② 支援課長
- ③ 映画・DVD鑑賞
- ④ 利用者とともに笑い皆様が安心して過ごせるよう支援していきたいと思ひますのでよろしくお願ひします。



- ① 古川美香(ふるかわみか)
- ② 副主任支援員
- ③ 温泉巡り
- ④ 利用者の皆さんが毎日楽しく過ごせるよう頑張つて支援したいと思ひます。



- ① 坂本大介(さかもとだいすけ)
- ② 支援員
- ③ 読書
- ④ 利用者の皆様から信頼される職員になれるよう励みます。よろしくお願ひします。



- ① 御代真子(みよしんこ)
- ② 支援員
- ③ 趣味は部屋の模様替えが好きです。
- ④ はまなす荘の皆さんと笑顔で過ごせるように頑張りたいです。



- ① 原愛美(はらまなみ)
- ② 支援員
- ③ 読書、スマホゲーム
- ④ 早く仕事を覚えて皆様の役に立てるよう、精一杯頑張ります。

異動・退職職員

退職

鯨岡美香支援員補助
菅原敬二支援員補助

異動

藤間俊江支援課長
横山直美支援員
「共同生活援助事業所シリーズ」

松尾幸昌支援係長

「障害者支援施設

野の花ホーム」

佐藤真知子支援員

「障害者福祉サービス事業所はまゆう」

皆様の新天地での活躍を祈念致しております。

寄附

岩崎啓子様
鈴木公江様
ひまわり信用金庫様
(順不同)

編集後記

新年度が始まりました。「平成」から「令和」に、年号も新しくなりました。新しい時代を感じながら前向きに生きていきましょう。

